

菅生神社みどころ

6 大楠 (パワーの木)

参拝者の多くの方が自然と足を向いてしまい樹に手をかざす。いつのまにか「パワーの宿る木」として皆様に使われています。

7 ハートの石

数年前、境内整備として本殿西側から掘り起こされたハートの石です。本殿に祀られている「えん結びの神様」須佐之男命様の御神徳なのでしょう。ハートの形は何か縁起の良い気持ちになりますね。

8 狛犬 (こまいぬ)

ふくよかで愛嬌の良い顔をしています。右側は「如澤」、左側は「雨時」と書かれています。意味は「澤如(たくわ)、時雨(じうのごとし)」恩沢が深く潤い及んで天下に広く行き渡っている様子。君子の恩恵が世に行き渡っている様子を称えたもの。

9 幟旗 (のぼり)

東側「神無大拾化衛」(シンオオイニケドウナシ) 意味・・・神を祀らぬ者には神はなし

10 幟旗 (のぼり)

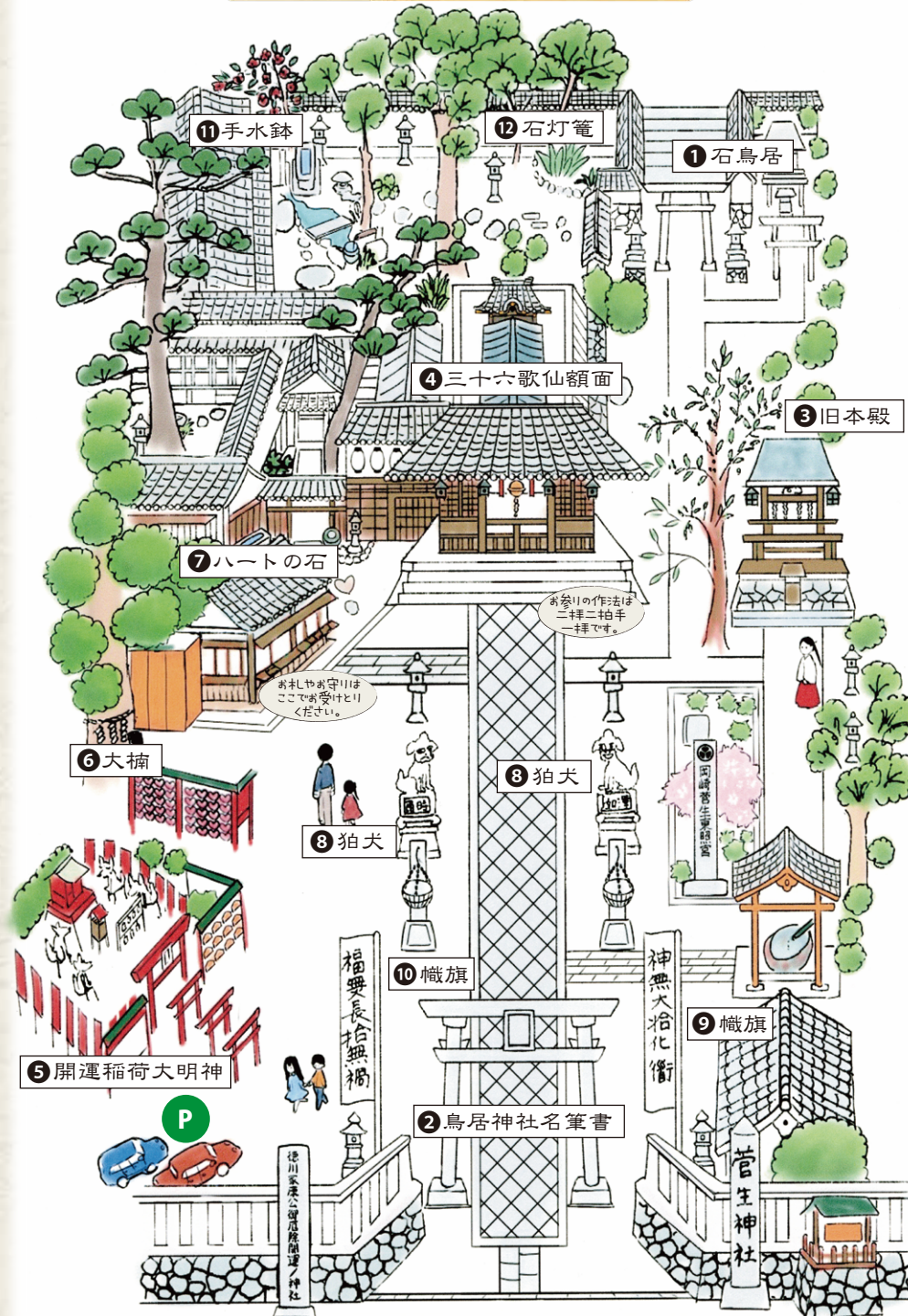
西側「福長拾無禍」(フクハナガクナケレドモワザイナシ) 意味・・・何事もないことが幸せである

11 手水鉢

元禄時代に松平家より寄進。その時代の物の中では大変優美な形であるといわれています。

12 石灯籠

もとは岡崎城の中に置かれていた物で元禄時代の石灯籠です。後に神社へ奉納されました。



境内を散策してみてくださいね。
新鮮な発見がありますよ。



1 石鳥居

寛永15年(1638年)岡崎城主本多伊勢守忠利公により寄進(岡崎市指定文化財)

2 鳥居神社名筆書

岡崎藩最後の藩主本多忠直公嫡男従三位子爵本多忠敬公文書

3 旧本殿 (現: 慰霊社) (1645年ぐらい)

前本多 ①石鳥居と同時期 ※岡崎城内で一番古い建物と言われております。

4 三十六歌仙額面 (本殿内)

鶴田鐵山作。優美典雅な彫刻作品

5 開運稲荷大明神

松平清康公により創建。岡崎城入場の折り菅生神社へ参籠され、その時夢のお告げにより開運稲荷を城内にお祀りされた。その後家康公、信康公の後の岡崎城主 田中吉政公の時城内を拡張のため開運稲荷のお社を破棄され御神体は菅生神社本殿に納められた。後に現在の所に祀られています。※田中吉政公は豊臣秀吉の家臣で秀吉公の命を受け岡崎城内を拡張されました。この時菅生神社の社領二町と家康公から寄進された土地を没収されました。二町(6000坪)

菅生神社御由緒

西暦110年に日本武尊命が東国平定の為に広い川が洋々と流れる里にお着きになりました。

その東の高岩山に賊が居て人々を悩ますとお聞きになり、ミコトはそれを討たんと矢作り部に命じましたが、流れが速く渡りかねていたところに蝶が舞い来て、たちまち人となり竹を集めて一夜にして一万本の矢ができました。

ミコトは賊をことごとく討ち從えた後に、岩の上に立ち祈る時に一矢が流れ着きました。

その矢を岩に刺すと八方に砕け飛び童子が現れ、東へ飛び立ちました。

ミコトはこれを喜び矢をご神体に伊勢の大神を祀れと仰せになりました。

菅生神社は部門の神と尊ばれ、徳川家康公ご先祖の松平一族の崇敬篤く、岡崎城主代々の祈願所でした。

徳川家康公が1566年家康公25歳の厄年に厄除開運祈願をなされ、同年12月に徳川へ姓を改められました。

こうして「立志改名」なされた徳川家康公は慶長8年に江戸幕府を開かれ、泰平の時代を築かれました。

菅生まつりは菅生神社の主祭神である須佐之男命(スサノノミコト)への疫病除けを祈願したお祭りで、

花火には「厄除け」と「鎮魂」の意味があるとされ、文化文政(江戸後期)には鉾船を菅生川に浮かべて花火を奉納したと記録が残っています。江戸幕府は火薬の扱いを三河地方のみに限らせたため、三河花火が発展しました。

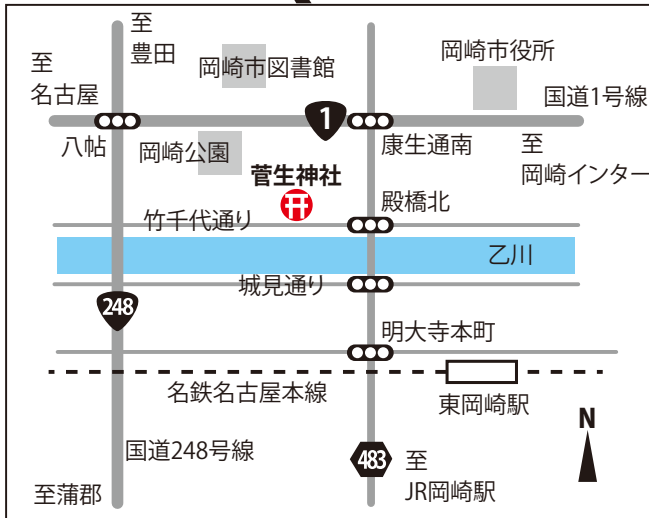
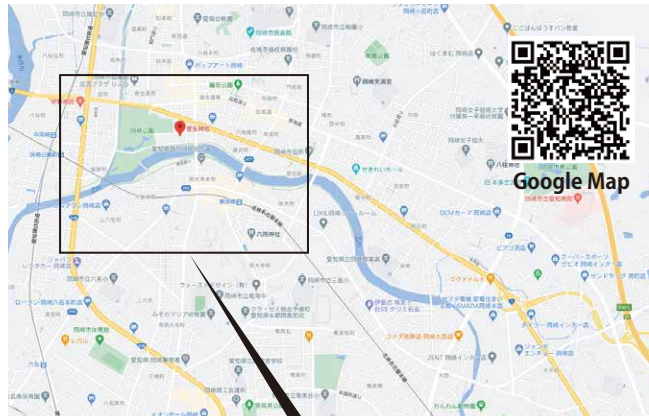
各町は口伝を持って伝承された煙火技術を駆使し、氏子によって花火を手作り、各町がその技を競い合いました。

今でも古礼に基づき昔のままの姿を残して毎年祭礼が執り行われております。

例大祭 7月20日

鉾船神事 (花火大会)8月第一土曜日

交通案内



【車でお越しの場合】

○境内の駐車場には、5台まで駐車できます。
 (満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
 <参考経路>高速道出口「岡崎IC」→国道1号線→交差点「康生通南」左折→交差点「殿橋北」右折

【電車でお越しの場合】

○名鉄名古屋本線「東岡崎駅」が最寄り駅です。
 <参考経路>東岡崎駅→交差点「明大寺本町」右折→交差点「殿橋北」左折

菅生神社 社務所

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町630番地1

Tel. 0564-23-2506 Fax. 0564-21-2468

受付時間: 9:00 ~ 16:00

※ご祈祷の事前予約をおすすめしております。



菅生神社公式ページ
 URL: <http://sugojinja.jp/>

菅生神社 岡崎

検索



徳川家康公ゆかり
 日本武尊により創建
 岡崎最古の神社
菅生神社
 城内領守 歴代城主祈願所



岡崎の風物詩
 菅生祭(8月第一土曜日)で行われる花火は、江戸期文化文政の時代から今も続き全国的に有名です。